

口腔がんのリスクのあるお口や習慣

口腔がんは、舌やお口の粘膜に慢性的な刺激が加わっているところにできやすいです。「刺激の原因」は放置せず、早めに歯科で治療してもらいましょう。お口の粘膜を弱くする食生活にも注意が必要です。

むし歯

重度のむし歯が絶えずあ
たると、粘膜が床ずれのよう
になり、口腔がんになったという報告
もあります。



合わなくなった 被せ物や入れ歯

被せ物が舌や粘膜にぶつかっ
ていたり入れ歯が歯茎を傷めてい
るというも要注意。



傾いた歯

内側や外側に傾いて
いる歯がくちびるの裏側
や舌にいつもぶつかっ
ていると慢性的な刺激に。
とがった歯や欠けた歯もお
口の粘膜に傷をつけやすい
です。



歯周病

歯周病による歯茎
の炎症は、お口の粘膜へ
の慢性的な刺激となりま
す。



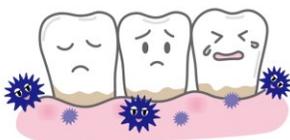
お口の傷

くちびるや舌を噛んで
しまうなどお口の癖も、
粘膜を繰り返し傷つける
原因に。



不潔なお口

歯みがき不足の不潔な
お口は口腔がんのリスク
を高めます。



お酒とタバコ
アルコールと喫煙はお
口の粘膜を弱くし傷つ
きやすくします。

**ビタミン不足や
栄養の偏り**
偏った食生活もお口
の粘膜を弱くし傷つき
やすくします。